

(様式1・小学校用①)

# 令和7年度 学校評価報告

草加市立長栄小学校

(令和8年2月3日作成)

<b>1 学校教育目標</b>	
○学校教育目標	よく考える子・思いやりのある子・たくましい子
○目指す学校像	かがやく笑顔 みんなが誇れる長栄小
○学校経営方針	児童一人ひとりを大切にし、学びに向かう力・豊かな心・たくましく生きる力をはぐくむ学校の実現
<b>2 重点目標・努力目標</b>	<b>3 前年度の成果と課題</b>
① 指導力向上	成果
② 家庭・地域との協働	○個別最適な学びを保証し、寄り添う場所として「ステップルーム」を校内に開設したことで、安心・安全な学校づくりを行うことができた。
③ 子供と向き合う時間の確保	課題
④ 学びの保障	○学校全体として低学年からの算数科の授業改善・学力向上を図る。

<b>4 評価表</b> ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	A	○働き方改革の理念の下、校務分掌組織づくりを行い、職員の学校運営参画意識を高めた。 ●共通理解・共通行動、報告・連絡・相談等を行うことで、職員全体の常態を向上させる。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	B	○長栄小学校の児童の実態を把握し、児童一人一人の居場所となる学級経営の研修を進めた。 ●学校としての方向性の共通理解を確認しながら研究・研修を行う。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○校内の危険場所について、共通理解を持ち、複数の目で児童の安全管理を行った。 ●危機管理マニュアルの見直しと周知・徹底を継続的に行う。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○適切な情報管理・徹底により、個人情報漏洩事故がなかった。 ●教職員で一丸となった安全点検と学校内の施設設備の管理。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○学校HPの更新を適時行い、保護者、地域に学校の様子を知ってもらおうとともに土曜日に学校公開日を設定し授業公開を行った。 ●PTA、地域と連携し、さらに教育活動を充実させる。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	B	○授業相互参観を行い理解を深めた。校種を越えて、気軽に交流を行った。 ●目指す15歳の姿を目指した教育活動の充実。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>15年間を通じたカリキュラムの編成、実施</li> <li>教育計画の作成</li> <li>教育活動の評価</li> <li>目標、方針の周知</li> <li>授業時数の配当、確保</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校行事の精選と適切な授業時数の確保により充実した教育活動を行った。</li> <li>●中学校区で15年間を通じたカリキュラムを編成していく。</li> </ul>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>外部人材の活用</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科担任制を行い、授業内容の充実を図った。</li> <li>●授業改善と個別最適な学びの視点で日々の授業を実施する。</li> </ul>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の作成</li> <li>各教科との関連</li> <li>道徳的実践力の育成</li> <li>家庭、地域社会との連携</li> <li>いのちの教育の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「考え、議論する道徳」の授業づくりと、人権感覚育成プログラムの実施。</li> <li>●いのちの教育を推進し、道徳的実践力をもつ豊かな人間性を育成していく。</li> </ul>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>各教科、道徳教育との関連</li> <li>中学校との連携</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ALTと新田中教員との連携による、外国語授業の充実。</li> <li>●外国語の教科担任制を充実させ、児童の外国語能力を伸ばしていく。</li> </ul>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>学級活動、学級経営</li> <li>学校行事</li> <li>児童会活動</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○SDGsを意識した、縦割り活動での長栄小フェスティバルを実施した。</li> <li>●さらに縦割り活動を充実させるために、兄弟学級あそびを取り入れる。</li> </ul>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価の工夫</li> <li>地域の人材・物的資源の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科横断的な指導計画を立案し、外部人材を積極的に活用して授業を展開した。</li> <li>●年間指導計画を見直し、改善していく。</li> </ul>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な生徒指導</li> <li>問題行動への対処</li> <li>教育相談、児童理解</li> <li>いじめ防止対策</li> <li>保護者、地域、諸機関との連携</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○『長栄小学校のやくそく』を徹底し、職員全体で共通理解・共通行動を行った。</li> <li>●あいさつや廊下歩行等の基本的な生活習慣を全職員で一丸となって指導していく。</li> </ul>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>中学校との連携</li> <li>啓発的経験の充実</li> <li>家庭、地域との連携強化</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学級活動（3）の授業やキャリアパスポートの活用を通して、キャリア教育の充実に努めた。</li> <li>●外部人材と連携したキャリア教育の実践をする。</li> </ul>
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の指導計画、支援計画</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>通常学級との交流</li> <li>諸機関との連携</li> <li>校内支援体制の整備</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援学校との連携により、教育相談体制を充実させた。</li> <li>●校内支援体制をさらに充実させ「特別でない特別支援教育」を実施していく。</li> </ul>
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画、支援計画の作成</li> <li>図書館補助員の活用</li> <li>諸機関との連携</li> <li>図書館の整備</li> <li>図書館利用の工夫</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電子図書館の利用、読書週間、読み聞かせ等を通じて、児童の読書習慣を確立させた。</li> <li>●高学年に向けた読書推進策を進める。</li> </ul>
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育計画の作成</li> <li>校内研修の充実</li> <li>ICT機器の積極的な活用</li> <li>情報モラル教育の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新校務PCの活用について共通理解を図り、校務と授業の両方に活用した。</li> <li>●情報モラルと使い方のルールを徹底させる。</li> </ul>
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の策定</li> <li>各教科との関連</li> <li>人権感覚の育成</li> <li>校内研修の充実</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳教育や夏季休業中の校内研修を通して、人権教育への理解を深めた。</li> <li>●人権感覚育成プログラムを授業参観で実施する等、保護者にも啓発する環境を整える。</li> </ul>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり環境 (学校ウェルビーイング)	「新田中学校区の目指す15歳の姿」の育成	目指す15歳の姿の実現に向け、幼保小中の交流・連携を充実させる。	B	○協議会を複数回実施し、計画的に幼保小中連携を実施することができた。 ●PDCAを念頭におき、園、学校ともに持続可能な交流・連携の計画立案を図る。
	学力向上	各学力・学習状況調査結果を考察し、授業改善を図る。	A	○算数科の授業に少人数指導を取り入れ、学力下位児童の学習意欲の向上と全体の学力向上が図れた。 ●学習のねらいに沿ったタブレットの使用について校内で研修を深める。
	誰もが幸福感を感じることのできる教育環境 (学校ウェルビーイング)	一人ひとりの児童に個別最適な学びを提供できる環境づくりを行う。	A	○不登校児童の家庭及び関係機関と連携し、安心して登校できる環境をつくる。 ●校内支援体制を確立することで全職員で児童を見守る体制をつくる。

**5 総合評価 (学校関係者評価を含む)**

- 地域・家庭の思いや願いにこたえた学校行事 (運動会等) を実施したことにより、理解と信頼を得ることができた。
- 「長栄小学校のやくそく」の共通理解を図り、長栄小学校の児童の一人ひとりが学校を良くしていこうとする意識を醸成することができた。  
また、児童に個別最適な学びを保証し、寄り添う場所として整備した「ステップルーム」をさらに周知活用し、児童の居場所づくりに生かすことができた。

**6 次年度の改善策**

- 学校課題に取り組む組織力を向上させるため、行事や日課表を工夫し、すべての児童に「平等・公平」な学習環境を整える。
- 個別最適な学びを実施するため、学校の思いを保護者に伝える努力を続け、共通の思いのもと、児童の登校意欲や学習への意欲を向上させる。